

連載
第11回

教師としての視野を広げる！ 世界の日本人学校 マンスリーレポート

グローバルな現代社会。教室には、海外につながる子供たちも少なくありません！
教師としての国際感覚を磨くため、海外の日本人学校のようすを毎月レポートします。

在外教育施設について

海外で日本の教育を受けることのできる教育施設で、「日本人学校」「補習授業校」等があります。現在、保護者の勤務の都合等で海外に滞在している日本の子どもたちは約8万3000人。このうち、約4万1000人が在外教育施設で学んでいます。

1 赴任したきっかけ

アメリカ留学中に日本人家庭で育った同世代の学生に出会いました。彼女たちはアメリカの現地校に通っていましたが、週末になると日本語補習校で日本語の勉強をするというハードな生活を送っていました。そのとき、様々な理由で日本以外の場所で勉強する日本人の子どもたちがいることを初めて知りました。留学を終えて帰国し、卒業を迎える時期にまず頭に浮かんだのがアメリカで出会った友人たちでした。世界中で日本語での教育を受けたいと願う子どもたちとその家族のために、自分に何か出来ることはないかと考えていた時、教育雑誌で見つけたのが日本人学校での求人でした。ここでなら、教員免許を生かしながら現地採用として新卒でも働けると知り、すぐに申し込みました。そしてハノイに赴任させていただくことになりました。



1年生の国語授業

2 学校の概要

本校は400人を超える児童生徒が通う小中一貫の学校です。4月始まりの3学期制です。ベトナム・ハノイ市内に住む日本人家庭等の子どもたちが、17台のスクールバス等で市内全域から通ってきます。校訓は「やさしく かしこく たくましく」で、児童生徒の好奇心を大切にしたい学校教育を行っています。小学部1年生から4年生までの児童はネイティブの教師によるベトナム語の授業が週1回行われています。また、ネイティブの講師よりレベル別の英会話授業も年齢に応じて週1～3回行われています。学校行事もスクールフェスティバルに運動会、長縄大会の他、学年毎の遠足や現地校との交流会、工場見学など年間を通して充実しています。



学校のまわり探検の様子

ハノイ日本人学校

山賀 美沙子(やまが みさこ)

所在国:ベトナム

プロフィール(赴任年度、担当等): 2018年赴任
小学部1学年担任



海外で働く 学校採用教員Q&A

Q21 年間行事はどのようなものがありますか？

A21 日本人学校では遠足、運動会、学習発表会、修学旅行等、日本と同様の学校行事の実施が多いですが、補習授業校は週1～2日程度しか通学しないため、行事としては運動会等が中心となります。

また、それ以外に、現地校等や現地コミュニティとの音楽、スポーツ等での国際交流や、在外教育施設同士での生徒間交流、餅つきやお月見、百人一首、書き初め大会等の日本文化体験、現地文化を体験学習するような活動を行うこともあります。

3 この国の学校ならではの！という特徴は何ですか？

小 学校1年生から4年生までの子どもたちは週に一度ベトナム語の授業を受けています。ベトナム人の先生がゲームを用いた楽しい授業をしてくださるので、入ったばかりの1年生も自己紹介などあつという間にできるようになります。また、学年ごとにベトナムの現地校との交流会を行っています。お互いに日本やベトナムの遊びを伝え合うなどして交流を深めています。さらに、校長先生を中心に全教育活動を通しSDGs(持続可能な開発目標)達成のため、ESD(持続可能な開発のための教育)の様々な活動に取り組んでいます。「日本も、世界の国々も、今のみんなも将来のみんなも、気持ちよく生活していけるようにしましょう」という考え方を浸透させるため授業で様々な工夫をしています。



全校集合写真

4 学校で勤務した感想

各 自治体から派遣された文科省派遣の先生方と、志を持った現地採用の先生が、子どもの成長という一つの目標に向かって教育活動を行っています。経験豊富な先生方の指導方法や、子どもへの様々なアプローチの仕方などに触れる機会が多くあり、教師として学ぶ機会が沢山あります。海外にある学校なので、日本のように簡単に授業で使う道具や参考書がそろえられないことはあります。しかし手に入るものを使ってここでしか出来ない経験をさせたい、と工夫しながら教えています。この経験は将来いろいろな場面で役に立つと信じています。



スクールフェスティバル

5 教え子が帰国したとき、日本の先生方に伝えたい伝達事項は何ですか？

基 本的に日本に住む子どもたちと何ら変わりません。しかしとても素直な子どもたちが多い気がします。また、幼い頃から外国にいて日本の文化に触れる機会が少ない子どもたちも多くいます。日本ではほとんどの人が知っている童謡や遊びを知らないこともあるので、優しく教えていただければと思います。あとは外で遊ぶ機会が少ないです。遊び盛りの子どもたちにとって体育の授業や習い事だけでは物足りないようで、「思い切り運動したい」という声をよく聞きます。



ベトナム人との交流授業



日本人学校等学校採用教員雇用支援、「学校採用教員レポート」などについて、詳しくはこちらから<https://www.joes.or.jp/>